

中古ビジネスがもっと分かるサイト

リサイクル通信 Online OPEN!

中古・リユースビジネスの総合ニュースサイト
<http://www.recycle-tsushin.com/>
 リサイクル通信

スマホ版もOPEN!

2020
6 10
(第489号)

リサイクル通信

The Reuse Business Journal

発行所 (株)リフォーム産業新聞社 〒104-0061 東京都中央区銀座8-11-1
 TEL 03(6252)3451 FAX 03(6252)3461
 発行人 加寛光次郎 (毎月2回発行) 年間購読料13,000円(税別・送料込み)



▲ブランドリバリューは「テレビ電話査定」を6月1日に開始した

「ビデオ通話査定」に脚光

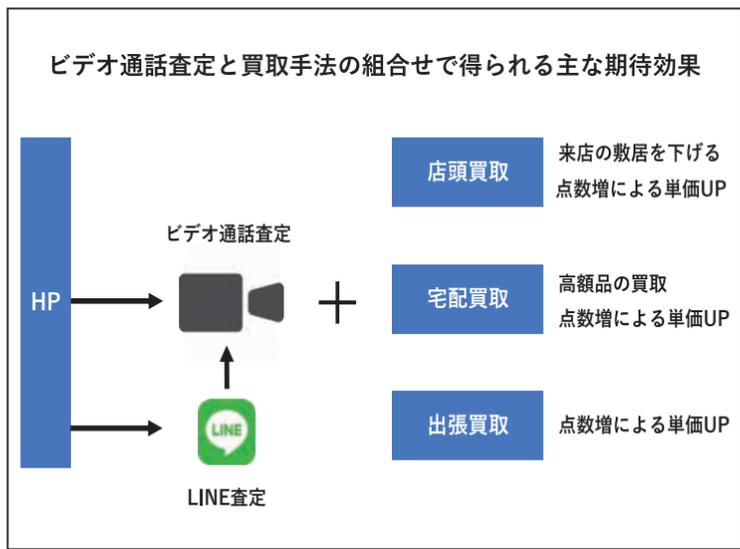
コロナ後も定着の可能性

緊急事態宣言が解除された後も、店頭への客足の戻りは鈍い。そんな中で、リユース企業各社から続々とサービスの提供が開始されているのが「ビデオ通話査定」だ。ライブ動画を通じて対面で接客や査定を行う。潜在需要を掘り起こす新たな接客手法として、新型コロナウイルス終息後も定着する可能性があるという。

コロナが生んだ新たな接客手法

ビデオ通話査定は、新型コロナウイルスの影響で店舗への来店を控えるユーザー向けのサービスとして、導入する企業が一気に増えている。専用のシステムを導入したり、LINEの機能

能を使って行う等、各社の対応はさまざまだ。ユーザーには査定希望日時や商品等を登録してもらうケースが多いようだ。ビデオ通話査定を始めた先駆的な存在が総合買取を行うマクサスだ。同社の「セルラティブ」は2017年1月頃からビデオ通話による査定サービスを開始。「ブランドリバリュー」を展開するステイゴールドでも6月1日から「テレビ電話査定」として開始した。



リユース企業向けのPOSシステム等を提示するNOVASTOでは、専用のビデオ通話サービスは6月に15社からあり、既に3社の導入が決まった。総取りサイクル店では出張買取部門で導入の検討が進んでいると注目度の高さが伺える。ブランド品買取大手「なんぼや」でも「クイックセル」のサービス名で5月からビデオ通話による査定サービスを開始。

宅配買取の弱点を補う

注目を集めるビデオ通話査定だが、さまざまな買取手法と組み合わせることで効果を発揮しそうだ。期待できそうな効果を図にまとめた。

通信環境や真贋など課題も

ただ、様々な課題もありそうだ。通信環境がユーザーによって左右されやすいため、安定した画質や音声を保てない場合がある。またジュエリーやブランド品等の場合、真贋を行うのは容易ではないが、最終的な金額確定は現物を確認してからになるという面もある。

店頭買取においては、来店までの敷居を下げる。宅配買取や出張買取では複数商材の査定による単価アップなどが見込めそうだ。特に宅配買取は、査定額に疑問があっても聞きづらく、価格の納得感や信頼が得られにくい面がある。そのため、ユーザーとしては高額品を送りにくい。ビデオ通話を用いた対面接客と組み合わせることで、安心感や納得感などが生まれ、高額品を買い取る機会も増えそうだ。また、当初査定を希望していた商品以外にも査定しやすくなるため、複数商材の買取による単価アップも期待できそうだ。

LINE査定を行った顧客にビデオ通話査定を案内し、より詳細な金額提示を行い、宅配買取等につなげる方法を取っている企業もある。

初挑戦 古美術品 webオークション

毎月第3土曜日開催!

エコオクで古美術品の取り扱いを始めます!

下見あり

事前入札あり

料金のご案内

出品手数料	6%	落札手数料	1点 500円/1,000円/2,000円
入会金	30,000円	年会費	20,000円

キャンペーンに伴い 日興堂が耐えられるまで!

お客様負担が **出品手数料5%のみ!**

もちろん今なら 落札手数料 入会金 年会費 が無料!

Nikkodo the Auction
日興堂 the オークション

株式会社 **日興堂**

〒652-0802
兵庫県神戸市兵庫区水木通 8-3-14

日興堂 神戸

兵庫県公安委員会許可 第631148700038号

出品者様

バイヤー様

参加者様

大募集中!

ご希望の方はご連絡ください **TEL.078-575-9728**